



# 佐々木小

令和3年10月15日

第6号

佐々木小学校

新発田市則清 856

TEL.0254-27-2011

## 当たり前なのが当たり前ができる 佐々木小の子どもたち! Part 3

校長 齋藤 博敏

令和3年度も折返し10月を迎えました。子どもたちは、今月23日(土)に行われる学習発表会に向け、授業中はもちろん休み時間にも自主的に練習、準備に励んでいます。きっと当日はこれまでの学習した成果を遺憾なく発揮してくれるに違いありません。

さて、10月に入り、子どもたちの登下校の様子について、お褒めの電話を2件、立て続けにいただきました。いずれも県道392号線(鳥穴日渡線)を利用されている方からです。

### ①新潟市北区在住の方から

夕方、新発田で用事が済んで自宅に向かっている途中、則清の信号が赤のため止まって待っていたそうです。すると、黄色い帽子を被った女の子1名と高学年と思われるの男子2名が、歩行者信号が青なので渡っていたそうです。渡り終わると、信号待ちをしていた車に、帽子を取り深々とお辞儀をしたそうです。その光景にとっても感動して、わざわざ佐々木小学校の電話番号を調べて、電話をくださいました。

その方は「車は赤信号だから止まるのが当たり前なのに、その車に向かって、わざわざお辞儀をするなんて、何て素晴らしい小学生なんだろう。こんな立派な小学生に出会ったことがない。」と興奮気味に何度もおっしゃっていました。

### ②新潟市在住の方から

朝、通勤のため新発田市に向かっていると、踏切の前を小学生の登校班が渡りたそうにしていたので、渡るように促したそうです。渡り終わると、止まっている車に対して頭を下げ、お礼をしていたそうです。大変感動されて、学校に電話をくださいました。

昨年度、2回に渡って「当たり前なのが当たり前ができる佐々木小の子どもたち」と題し、学校便りに綴らせていただきました。

“当たり前なのが当たり前ができる”口で言うことは簡単です。でも、大人の私たちでさえ、本当に難しいことではないでしょうか。

**「当たり前のことを当たり前に行い、  
誰に言われることなく、良い伝統を  
しっかりと引き継ぎ、守る子どもたち」**

あらためて佐々木小の子どもたちの素晴らしさを再認識させられた10月のスタートとなりました。